

「JENESYS2.0」

中国科学技術関係者代表团

訪問日程 平成 25 年 10 月 15 日（火）～10 月 22 日（火）

1 プログラム概要

中国科学技術部が派遣した中国科学技術関係者代表团計 32 名が、10 月 15 日から 10 月 22 日までの 7 泊 8 日の日程で来日しました。（団長：姜小平（キョウ・ショウヘイ）中国科学技術部国際合作司アジア・アフリカ処 処長）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、日本の科学技術関連機関や企業の訪問や交流の場を通じて、日本の青年や市民との親睦を深めるほか、日本の政治・経済・社会・歴史・文化等が体感できるような施設や、地方都市の参観を通じて、クールジャパンに直接触れ、日本に対する包括的な理解を深めました。

2 日程

10 月 15 日（火）

成田国際空港より入国、オリエンテーション

10 月 16 日（水）

文部科学省訪問・科学技術学術政策に関する講義、日本学術振興会訪問・視察、日本科学未来館視察、科学技術振興機構との交流、歓迎会

10 月 17 日（木）

国会議事堂視察、理化学研究所訪問・視察

10 月 18 日（金）

京都府へ移動、京都市政に関する講義

10 月 19 日（土）

京都リサーチパーク 訪問・視察、天龍寺見学、嵐山 亀山公園周恩来歌碑・渡月橋見学、塗物絵付体験、金閣寺見学

10 月 20 日（日）

滋賀県へ移動、琵琶湖見学・乗船体験、彦根城見学

10 月 21 日（月）

堀場製作所 訪問・視察、東京へ移動、歓送報告会

10 月 22 日（火）

成田国際空港より帰国

3 写真



10月16日 文部科学省訪問・科学技術 学術政策に関する講義（東京都）

10月16日 访问文部科学省
关于科学技术 学术政策的讲座（东京都）



10月16日 文部科学省訪問
情報ひろば視察（東京都）

10月16日 访问文部科学省
考察信息广场（东京都）



10月16日 日本学術振興会 訪問・視察
（東京都）

10月16日 访问考察日本学术振兴会
（东京都）



10月16日 日本科学未来館視察（東京都）

10月16日 考察日本科学未来馆（东京都）



10月16日 日本科学未来館視察
毛利衛館長（前列右3）との面会（東京都）

10月16日 考察日本科学未来馆
与毛利卫馆长见面（前排右3）（东京都）



10月16日 科学技術振興機構との交流
（東京都）

10月16日 科学技术振兴机构的交流会
（东京都）



10月16日 歓迎会
江田五月日中友好会館会長(左 1)と交流
する姜小平団長(左 2)ほか団員(東京都)



10月17日 国会議事堂視察 (東京都)

10月16日 欢迎会
江田五月日中友好会馆会长(左 1)与
姜小平团长(左 2)和团员们畅谈 (東京都)

10月17日 考察国会议事堂 (東京都)



10月17日 理化学研究所訪問・視察
野依良治理事長(右 5)との面会(埼玉県)



10月17日 理化学研究所訪問
次世代重イオン加速器施設 視察(埼玉県)

10月17日 訪問考察理化学研究所
与野依良治理事長(右 5)见面 (埼玉県)

10月17日 访问理化学研究所
考察新时代重离子加速器设施 (埼玉県)



10月18日 京都市政に関する講義
(京都府)



10月19日 京都リサーチパーク訪問・視察
(京都府)

10月18日 关于京都市的讲座 (京都府)

10月19日 访问考察京都研究园(京都府)

	
10月19日 門川大作京都市長との面会 (京都府)	10月19日 天龍寺見学 (京都府)
10月19日 与門川大作京都市長见面 (京都府)	10月19日 参观天龙寺 (京都府)
	
10月19日 嵐山 亀山公園周恩来歌碑見学 (京都府)	10月19日 塗物絵付体験 (京都府)
10月19日 参观岚山 龟山公园周恩来诗歌碑 (京都府)	10月19日 体验漆器彩画 (京都府)
	
10月19日 金閣寺見学 (京都府)	10月20日 琵琶湖見学 (滋賀県)
10月19日 参观金阁寺 (京都府)	10月20日 参观琵琶湖 (滋贺县)

	
10月20日 彦根城見学（滋賀県）	10月21日 堀場製作所訪問・視察（京都府）
10月20日 参观彦根城（滋賀县）	10月21日 访问考察堀场制作所（京都府）
	
10月21日 歓迎報告会 姜小平団長の挨拶（東京都）	10月21日 歓迎報告会 訪日成果報告（東京都）
10月21日 欢送报告会 姜小平团长致辞（东京都）	10月21日 欢送报告会 汇报访日成果（东京都）

4 参加者の感想（抜粋）

○ 科学技術の政策と発展計画について、中日両国の重視する方面はとても似ており、これはお互いの文化が通じ合っていることの表れであり、国の発展と人々の幸せを追求することは双方一致しているので、お互いに協力を深めて、共に発展していかなければと思いました。特に人類の未来発展に関係してくる環境保護、健康、衛生面などについて、緊密に協力をしていけば、早急に問題を解決することができ、人々に幸せをもたらすことになると思います。

○ 日本の科学技術システムと研究状況について、創造性と研究精神が強く印象に残りました。

日本は早くから産学官連携を重視していて、例えば京都高度技術研究所と理化学研究所は、この方面に関して優れており、研究者に自由な研究環境と先端の科学研究設備を提供しています。この点は、学び、普及を推進する価値があると思います。

日本は科学技術の体制の設置については、文部科学省が行政体制の制定や政策計画等を担当し、行政独立法人を通じて、科学技術のプランニングと科学研究プロジェクト実施の手配を行っています。その中の日本学術振興会 JSPS は、下から上への研究プランを採用し、基礎科学研究と自由探索の創造力を高めるとともに、研究者が創造性を高めるよう促進もしています。また、科学技術振興機構 JST は、上から下への研究システムを採用し、国家戦略と科学技術の発展路線から、研究者の研究を推進するとともに、大学の基礎研究と企業の実用化開発が一体となって発展するよう導いています。また、この国際協力と交流によって、科学技術の創造力を総合的に高めています。

帰国後に、中国の科学技術研究の管理・執行機関へ、これらの状況を伝え、中国の科学技術創造体制の改革・発展をさらに促進し、科学技術と産業の一体化と、相互促進を強化し、科学技

術の研究活動の基本的条件・施設・人員の待遇などを向上させられればと思います。それから、国際交流と協力を更に強化する必要がある、特に科学技術研究管理者の国際交流活動を重視しなければいけないと思います。

○ 7日間の訪問交流を通じて、日本について鮮明な印象が残りました。

1.高度文明の発達した社会、一般的教養の高い市民

日本から受けた最初の印象は、しっかりしたインフラ、先進の管理理念と豊富な経験で、発展途上の中国とは異なり、市民のマナーなど、全体的な一般的教養も中国より高いです。

2.綿密な目標、厳格な過程管理

7日間の日程手配、日中友好会館の人員配置、訪問機関の準備などから、日本人が仕事に対して目標や計画性が高いことを感じられました。また、非常に綿密に計画され、全体的な時間やプロセスを最大限コントロールし、完璧と言っていいほど、とても綿密でした。

3.歴史の尊重、文化内包の伝承

歴史的に有名な都市である京都を見学している際、京都は長安を模範に建設されたことを知りました。日本の専門家が話していたように、数千年前の長安は、西安では痕跡しか見られないけれど、京都では当時の長安の様子を感じることができました。

京都リサーチパーク視察では、西洋の建築要素の中に歴史的な要素を融合させていることを見て取ることができ、歴史の内包を伝承すると同時に、現代文明も融合させていました。これらは、コンクリートジャングルで方向を見失った一部の中国人にとって、学ぶ価値があります。

今回の訪問で、私は多くのことを考えさせられました。多くのことを学んだと同時に、中日両国の根源は同じだと深く感じ、両国の交流は多くのチャンスに満ち、両国人民も必ず友好的に交流していこうと思いました。

○ 今回の訪問を通じて、最も印象深かったのは堀場製作所です。精巧な機械製作レベルを有し、人を中心とする理念は、私たちが真剣に学び、探求する価値があると思いました。専門分野の状況にあわせて、堀場製作所が研究開発している温室ガスの計測と大気環境の監視設備を中国の同業者に紹介して、協力のチャンスを模索できればと思いました。

日本のインフラ整備は中国よりも更に整っており、このことも、中国の同僚や周りの人に伝えたい、日本の重要な部分の一つです。

日本は産学研方面の10年間の探求で、貴重な経験を多く積んできています。理化学研究所と京都リサーチパークを訪問した際に、産学研が緊密につながっていることを感じました。また、科学研究の成果が生活に便利さを与えていることを常に感じる事ができ、特にパナソニックセンターでは、温室ガス排出の削減や省エネに対するたゆまぬ努力と探求を、更に良く感じ取ることができました。このことも同僚や友人へ伝えたい情報の一つです。

○ 1.日本人は親切でホスピタリティがあり、礼儀正しく、物事に対し真面目に取り組み、時間意識が強いです。

2.日本は環境保護を非常に重視しており、生活環境は清潔に整えられ、緑化率が高く、省エネ廃棄物削減技術の応用も普及しています。

3.日本の交通機関は障害者の専用設備やインフラが非常に整っており、人への優しさや配慮にあふれ、生活が便利で、整然としていました。

4.日本の経済と科学技術発展のレベルは高く、また先端技術の応用と産業化のレベルが高く、人々の生活の中に科学技術の応用が多く含まれています。科学技術の管理体制や政策と、社会及び経済の発展は互いに順応していて、科学研究の成果が上がりやすく、科学研究の信用度が高く、人材育成やプロジェクトの申告、審査とその制度は合理的です。

5.日本は国民への科学技術の普及を重視していて、特に青少年の科学教養の育成、国民教育に対し重点的に取り組んでいます。